

研究成果の刊行に関する一覧 2001年度

- 玉腰 暁子. インフォームド・コンセント. 上島弘嗣, 小澤利男 編. 動脈硬化・老年病予防健診マニュアル. 東京: 株式会社メジカルビュー社, 2001: 212-215.
- 玉腰 暁子. 医学研究におけるインフォームドコンセントのあり方. 医学のあゆみ 2001; 196: 563-566.
- 玉腰 暁子. 疫学研究—その意義と問題点. 学鏡 2001; 98: 16-19.
- 鷲尾 呂一, 石垣恭子, 玉腰暁子. 看護学生にみるインフォームドコンセントについての意識. 日本医事新報 2001; 4017: 75-77.
- 尾島 俊之, 多治見守泰, 大木いずみ, 中村好一, 柳川洋. 全国の市町村における疫学研究と個人情報保護に関する検討の現状. 厚生指針 2001; 48: 22-28.
- 小橋 元, 鷲尾呂一, 太田薫里, 福地保馬. 血液検査でわかることについての知識と研究への臓器・血液供出に関する意識との関連—専門学校・短期大学生への質問紙調査—. 社会医学研究 2001; 19: 23-32.
- 小橋 元, 太田薫里, 長野俊輔, 木佐健悟, 玉城英彦, 福地保馬. 「疫学研究への個人情報の提供」に関する医学生への意識. 社会医学研究 (印刷中)
- 齋藤有紀子. 生殖補助医療技術の議論から見えること: 生殖機能の拡大を保障される人と、放棄を求められる人. 助産婦雑誌 2001; 55 (4): 6-7.
- 齋藤有紀子. 妊婦の善意の組織提供を考える: 臍帯血、胎盤提供の可能性を見すえて. 助産婦雑誌 2001; 55 (6): 6-7.
- 齋藤有紀子. 写真掲載と患者のプライバシー. 助産婦雑誌 2002; 56 (3): 6-7.
- 佐藤 恵子, 野口眞三郎, 恒松由記子. 家族性腫瘍の遺伝子診断研究における説明文書・同意書の作成. 家族性腫瘍 2001; 1: 55-62.
- 佐藤 恵子. 国際的な研究の倫理的問題—途上国における HIV/AIDS の臨床試験を例に. 臨床評価 2001; 28: 423-428.
- 堀江 正知, 杉森裕樹, 竹田 透, 森 晃爾. 座談会: 個人情報保護と産業保健 (上) —個人情報保護法と健康情報の取り扱いの今後—. サンヨー会報 2001; (20): 18-21.
- 堀江 正知, 杉森裕樹, 竹田 透, 森 晃爾. 座談会: 個人情報保護と産業保健 (下) —個人情報保護法と健康情報の取り扱いの今後—. サンヨー会報 2001; (21): 18-21.
- 杉森 裕樹. 第 41 回学術集会, ワークショップ, 「IT 化と個人情報保護」. 聖マリアンナ医大誌 2001; 29: 631-634.
- 杉森 裕樹, 吉田勝美. 健診情報の電子化・標準化と個人情報の保護. 保健婦雑誌 2002; 58: 102-108.
- Sugimori H, Yoshida K, Hara S, Furumi K, Kubodera T, Tofukuji I, Yoda T, Kawai M, Committee of JAHIS. Standard protocol for exchange of health-checkups based on SGML: The Health-checkups Data Markup Language (HDML). MEDINFO2001. (Editor: Patel VL et al) IOS Press (Amsterdam), pp708, 2001.
- Nakayama T. Response to Pfahlberg: Reporting attributable risk in Epidemiologic Studies in its Periodical. Epidemiology 2001; 12 (4): 474.
- 中山 健夫, 福原俊一. エビデンスを創る: 患者立脚型研究における倫理的問題. EBM ジャーナル. 2002; 3 (1): 108-12
- 中山 健夫. ポピュレーション・ストラテジー. 歯界展望 2002; 99 (1): 170-1
- 丸山 英二. 先端医療技術に関する最近の政府指針におけるインフォームド・コンセント. 年報医事法学 2001; 16: 64-74.
- 丸山 英二. 産業活動をめぐる法律問題—インフォームド・コンセントと個人情報保護. 季刊労働衛生管理 2001; 12: 28-32.
- 丸山 英二. 個人情報保護と疫学研究. NEWS CAST (日本がん疫学研究会) 66号 3~6頁, 2001-08
- 丸山 英二. 医学・医療における個人情報保護とインフォームド・コンセント. JACR MONOGRAPH No.7『地域がん登録によるがん患者の生存率測定の意義』5~9頁, 2002-02.
- 丸山 英二. 個人情報保護法案と疫学研究倫理指針案. 日本生命倫理学会ニューズレター 21号 2頁, 2002-03.

厚生科学研究費補助金政策科学推進研究事業
公衆衛生活動・調査研究における個人情報保護と利活用に関する研究

主任研究者

玉腰暁子 (名古屋大学大学院医学研究科予防医学／医学推計・判断学)

分担研究者／研究協力者

石川鎮清 (自治医科大学地域医療学)
尾島俊之 (自治医科大学公衆衛生学)
掛江直子 (国立精神・神経センター精神保健研究所)
菊地正悟 (愛知医科大学医学部公衆衛生学)
小橋 元 (北海道大学大学院医学研究科老年保健医学)
齋藤有紀子 (北里大学医学部医学原論研究部門)
佐藤恵子 (国立がんセンター中央病院・臨床試験管理室)
杉森裕樹 (聖マリアンナ医科大学予防医学)
内藤真理子 (京都大学大学院医学研究科医療システム情報学)
中村好一 (自治医科大学公衆衛生学)
中山健夫 (京都大学大学院医学研究科医療システム情報学)
丸山英二 (神戸大学大学院法学研究科)
武藤香織 (北里大学医学部医学原論研究部門)
山縣然太郎 (山梨医科大学保健学Ⅱ)
鷺尾昌一 (九州大学大学院医学研究院)

公衆衛生活動・調査研究における
個人情報保護と利活用に関する研究

平成 13 年度研究業績集

2002 年 3 月 31 日発行

主任研究者 玉 腰 暁 子
〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65
名古屋大学大学院医学研究科
予防医学／医学推計・判断学教室

TEL 052-744-2132

FAX 052-744-2971